

2018年5月15日

平成28年熊本地震により発生した災害廃棄物に関するセメント産業の処理量について  
－2017年度末集計結果報告－

(一社)セメント協会

はじめに、平成28年熊本地震でお亡くなりになられた方々に対しまして心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

セメント協会は、被災地の一日も早い復旧・復興に向け尽力して参る所存であります。

さて、首記災害に関しましては、一昨年5月に環境省/災害廃棄物処理支援ネットワーク(D.Waste-Net)<sup>1)</sup>を通して「熊本県における災害廃棄物の適正かつ迅速な処理について(協力依頼)」を受理し、受け入れに関する処理フロー(案)の提供と対応可能な社の窓口紹介を行い、その後、対応可能な個々の会員会社で災害廃棄物の受入・処理が行われてきております。

これまで、複数のセメント工場で受入・処理が行われており、2018年3月末の時点で処理量は215,400トンとなっております。詳細は下記の通りです。

調査対象期間：2016年7月～2018年3月(21ヶ月間)

木くず	： 119,200 トン
畳	： 5,900 トン
廃プラスチック	： 1,800 トン
瓦	： 18,400 トン
その他(混合廃棄物)	： 70,100 トン
計	： 215,400 トン

注：一部の工場では2018年度も処理を継続しております。(年内中に数千tほど処理予定)

熊本県の公表資料「平成28年熊本地震 災害廃棄物処理等の進捗状況について」<sup>2)</sup>によれば、2018年2月末時点の廃棄物発生推定量として289万t(2017年6月改訂)、処理量は303万tと推定量を越えるものとなりました。

被災地における災害廃棄物処理は終息を迎えつつありますが、被災地の復旧・復興に向けての支援はまだまだ必要と思われ、今後とも、セメント産業は復旧・復興に向けた基礎資材となるセメントを安定的に供給する役割を担って参ります。

以上

【参考】

1)災害廃棄物処理支援ネットワーク [http://kouikishori.env.go.jp/action/d\\_waste\\_net/](http://kouikishori.env.go.jp/action/d_waste_net/)

2)「平成28年熊本地震 災害廃棄物処理等の進捗状況について」(平成30年4月13日付)

[http://www.pref.kumamoto.jp/common/UploadFileOutput.ashx?c\\_id=3&id=15656&sub\\_id=26&fid=144875](http://www.pref.kumamoto.jp/common/UploadFileOutput.ashx?c_id=3&id=15656&sub_id=26&fid=144875)